

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	日曹マブリックジェット
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 2 号
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
FAX 番号	03-4212-9676
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
SDS 作成日	1995 年 01 月 30 日
改訂日	2024 年 09 月 27 日 (11 版)
推奨用途	農薬
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

「2～16」の項目につきましては、次頁以降に記載してあります製品製造会社の安全データシート（SDS）をご参照ください。なお、次頁以降の SDS 中の製品名や登録番号等が弊社の商品と異なる場合がございますが、弊社の商品名等は本頁の記載の通りとなります。当商品に関するお問い合わせは次頁以降の連絡先ではなく、本頁に記載の連絡先までお願いいたします。

この頁と次頁以降を分離して使用しないでください。分離して使用された場合、当商品の状況を示す SDS とは異なるものとなり、分離した SDS に従い当商品が使用されたことに起因して事故、不具合が生じても、弊社はその損害につき責任を負いかねます。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒 110 番 365 日 24 時間対応

一般市民専用電話（情報料無料）

（大 阪） 072-727-2499 （つくば） 029-852-9999

医療機関専用有料電話（1 件 2000 円）

（大 阪） 072-726-9923 （つくば） 029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	新富士マブリックジェット
供給者の会社名	新富士化成薬株式会社
住所	群馬県高崎市小八木町313
電話番号	027-361-6100(代)
ファックス番号	027-361-6129
緊急連絡先	研究品質管理部
電話番号	027-361-6100(代)
推奨用途	温室、ビニールハウス等での害虫駆除
使用上の制限	農業用途以外には使用しない

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
エアゾール	区分に該当しない (分類対象外)
酸化性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
高压ガス	区分に該当しない (分類対象外)
引火性液体	区分に該当しない (分類対象外)
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない (分類対象外)
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	区分に該当しない (分類対象外)
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分4
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入：蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	区分4
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分2
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1 (神経系)

環境に対する有害性	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（血液、腎臓）
	誤えん有害性	区分2（血液系、呼吸器系、免疫系、腎臓）
	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1
	オゾン層への有害性	区分1 分類できない

GHSラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語 危険有害性情報	危険
	飲み込むと有害 吸入すると生命に危険 強い眼刺激 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 神経系の障害 血液、腎臓の障害のおそれ 長期にわたる又は反復ばく露による血液系、呼吸器系、免疫系、腎臓の障害のおそれ 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者等に廃棄物処理を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名 新富士マブリックジェット

組成物質名	CAS登録番号	化管法指定 化学物質	化審法官報 公示整理番	安衛法官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲
α-シアノ-3-フェノキシベンジル-N-(2-クロロ-α,α,α-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリネート (別名フルバリネート)	102851-06-9	-	-	4-(7)-1479	15.0%
塩素酸カリウム	3811-04-9	-	1-229	-	12.0%
結晶質シリカ	14808-60-7	-	1-548	-	2.0%
硝酸アンモニウム	6484-52-2	-	1-395	-	<0.125%
鉱物、増量剤等	-	-	-	-	約70%

結晶質シリカ、硝酸アンモニウムに関しては原料由来のもので、意図的に混合させているものではない。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。

呼吸に関する症状が出た場合

医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合

医師の診察/手当を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

炭酸ガス消火剤、粉末消火剤、泡消火剤、霧状の水

特有の消火方法

- 1) 火災に巻き込まれて製品が発煙した場合には、周辺の人を風上に避難させた後、空気呼吸器（ない場合は濡れタオル）及びその他の保護具を着用し、風上の離れた所から消火する。
- 2) 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周辺に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には必ず防護マスク、ゴム手袋、保護眼鏡及びその他の保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ミスト、ガスを吸入しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火源となる物を速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に流してはいけない。

二次災害の防止策

容器が破損し内容物がこぼれた場合は、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして「立入禁止」とし、飛散したものを掃き集めて空容器に回収し、持ち帰る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱中は、火気を近づけない。

安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

ラベルの記載以外に、使用しないこと。

点火する際は、防護マスク、手袋、長袖の作業衣等を着用し、発煙を確かめたら、直ちに退室する。

接触回避

くん煙中は、室内へ入ってはならない。又、くん煙終了後、入室する時は、あらかじめ出入口や窓等を開放し、十分に換気をする。

衛生対策

1) かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意する。又、呼吸器官の弱い人、病中・病後の人は、絶対に使用してはならない。

2) 取扱い後は、顔や手等の露出部を、石鹸を用いてよく洗う。

保管

安全な保管条件

1) 火気や直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に施錠して保管する。

2) 容器は密栓して保管すること。

3) 医薬用外劇物であり、盗難・紛失の際は、警察に届け出ること。

4) 屋外に放置して、散乱したり、水域に流失したりしないよう十分注意すること。可燃物の近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

厚生労働省

設定されていない

許容濃度

日本産衛学会

設定されていない

ACGIH

設定されていない

《結晶質シリカのデータ》

管理濃度

厚生労働省

$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$, E: 管理濃度 (mg/m³), Q: 当該粉 じんの遊離けい酸含有率 (%)

許容濃度

日本産衛学会

0.03 mg/m³ (吸入性結晶質シリカ)
年度：2020

ACGIH

0.025 mg/m³ (Respiratory fraction)
年度：2021

設備対策

取扱いについては、できるだけ密封された装置、機器又は局所排気装置を使用する。取扱場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼装備を設置した方が良い。

保護具

呼吸用保護具

防護マスク

手の保護具

不浸透性手袋

眼、顔面の保護具

側板付眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

長袖の作業衣・帽子・長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的狀態

物理狀態	物理狀態	固体
形状	形状	中空円板状
色	色	灰色
臭い	臭い	僅かに臭気あり
融点・凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		可燃性固体
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
引火点		データなし（点火によって発煙する）
自然発火点		約200℃で発煙し、薬剤を放出する
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		水：一部溶解する
n-オクタノール／水分配係数（log値）		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定である
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	直射日光、高温、高熱
混触危険物質	強酸類
危険有害な分解生成物	二酸化塩素

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	区分4 LD50 経口 ラット 960mg/kg (♂)、1275mg/kg (♀)
急性毒性（経皮）	区分に該当しない LD50 経皮 ラット > 2000 mg/kg
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分4 LC50 吸入 ラット > 1.26 mg/l/4h
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない 弱い刺激性（ウサヅ）
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A 中程度の刺激性（ウサヅ）
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない 陰性（エルモット）

生殖細胞変異原性	区分2 結晶質シリカが2%≧1%のため、区分2に該当。
発がん性	区分1A 結晶質シリカが2%≧0.1%のため、区分1Aに該当。
生殖毒性	区分2 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い フルバリネートが15.0%≧3.0%のため、区分2に該当。
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1 フルバリネートが15.0%≧10%のため、区分1(神経系)に該当。
	区分2 塩素酸カリウムが12.0%≧1%のため、区分2(血液)(腎臓)に該当。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2 結晶質シリカが2%≧1%のため、区分2（免疫系）（呼吸器系）（腎臓）に該当。
	区分2 フルバリネート15.0%≧10%のため、区分2(血液系)に該当。
誤えん有害性	分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 (短期/急性) 区分1 水生生物に非常に強い毒性 区分 1 及び毒性乗率 M=100 のフルバリネートを0.25%以上含有するため、区分 1 とした。 水生環境有害性 (長期/慢性) 区分1 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 区分 1 及び毒性乗率 M=100 のフルバリネートを0.25%以上含有するため、区分 1 とした。 EC50 - 甲殻類 [1] 《フルバリネートのデータ》0.0023 mg/l （ミジンコ、48hr） EC50 72h - 藻類 [1] 《フルバリネートのデータ》> 2.17 mg/l （72hr）
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

未使用の製品はそのまま廃棄しない。箱、袋を開け、内容物に水を十分含浸させ、廃棄すること。

汚染容器及び包装

- 1) 製品（掃き取り回収品を含む）及び容器等は適切に処理をする。
- 2) 廃棄する場合には、都道府県知事の許可をうけた処理業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	3077	
品名	環境有害物質（固体）	α-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-α, α, α-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート (別名フルバリナート)
国連分類	9	
容器等級	Ⅲ	
1) 荷役中の取扱いは慎重丁寧にし、落下・衝撃等により容器を傷め内容物を飛散させてはならない。		
2) 運送中は直射日光や雨水の浸透を防止するための被覆等をするともに、容器が転落・転倒しないように積載する。		
3) 医薬用外劇物であるため、毒物及び劇物取締法の輸送規制に従う。		
4) 1回に1 t を超える量を車両又は鉄道により運送する場合で、運送を他に委託する時は、運送人(運転者等)に対して予めイエローカード等を交付する。		
5) 盗難・紛失は警察等所轄官庁に届け出ること。		

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	危険物・酸化性の物（施行令別表第1第3号） 塩素酸カリウム 硝酸アンモニウム がん原性物質（安衛則第577条の2第3項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号） 結晶質シリカ 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 結晶質シリカ（政令番号：165の2） 硝酸アンモニウム（政令番号：308） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 結晶質シリカ（政令番号：165の2） 硝酸アンモニウム（政令番号：308） 【改正後 令和6年4月1日以降】 皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧） α-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-α, α, α-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート（別名フルバリナート） 不浸透性の保護衣、保護手袋、履物又は保護眼鏡等適切な保護具を使用させなければならない。 【改正後 令和7年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第2号、労働安全衛生規則別表第2） α-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-α, α, α-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート（別名フルバリナート） 【改正後 令和7年4月1日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号、労働安全衛生規則別表第2） α-シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ-α, α, α-トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート（別名フルバリナート）
---------	--

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）	塩素酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩
	塩素酸カリウム(管理番号：598) (12%)
第2種指定化学物質（法第2条第3項、施行令第2条別表第2）	フルバリネート(管理番号：774) (15.0%)
毒物及び劇物取締法	劇物（指定令第2条）
	有機シアン化合物及びこれを含有する製剤
	塩素酸塩類及びこれを含有する製剤
化審法	非該当
消防法	非該当
農薬取締法	該当
水濁法	有害物質（政令第2条第26号）【アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物】
	硝酸アンモニウム（0.125 %）
	指定物質（政令第3条の3第48号）【塩素酸及びその塩】
	塩素酸カリウム（12.0 %）

1 6．その他の情報

■ 主な引用文献

- ・GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
JIS Z 7253：2019
- ・厚生労働省医薬食品局 GHS 対応ラベルおよび SDS の作成マニュアル
- ・Nite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 HP

[注意] ・記載内容は現時点で入手できる資料・データに基づき作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえご利用下さい。